



西部3地区(志賀・小川・長岡) についての地域課題

佐藤 剛太



問 台風19号の被害による志賀沢川浚渫工事の市が管理する区間の実施計画を伺う。

土木課長 今年度から創設された緊急浚渫推進事業債を活用して市の管理区間の4・4キロのうち、約3分の1の1・4キロの浚渫を実施する予定です。

問 この工事はいつから実施されるのか。

土木課長 工事は、令和3年度、令和4年度で実施します。

問 (空港の) 運用時間を延長した場合、市としてのメリットはどのようなことがあるのか伺う。

総務部長 宮城県の説明では、県全体として年間1030億円の経済波及効果があると伺っています。ただ、岩沼市に係る効果額は示されていません。

西部3地区の騒音対策は

問 仙台空港時間延長化の騒音に対する不安などさまざまな問題があるが、今後、西部3地区、志賀、小川、長岡地区(以下「西部3地区」という。)においての騒音対策

について、市ではどのように考えているのか伺う。

総務部長 西部3地区は、延長時間帯の飛行回数が増加します。さらに西側直進の際には、飛行経路のすぐ下に位置することから考えますと、航空機騒音の影響が増大することが予想されますので、県に対して十分な騒音対策を講じるよう要請していきます。

問 空港とともに発展する地域づくりの実現について、市長の見解を伺う。

市長 デメリットを下げてもメリットを上げるといことです。音を下げた地域振興策に結びつけていく。それが、一番影響が出る矢野目地区、そして飛行経路下にある西部3地区になります。これから地域の皆さんと、空港の発展と一緒に地域の発展に結びつけていくという考え方が必要だと思っています。宮城県あるいは東北全体をカバーする空港だという意識を持つていただき、岩沼市の経済に結びつけていくことが必要です。



岩沼市のさらなる発展

布田 恵美



問 岩沼市は、週刊誌AERA8月10日・17日合併増大号の特集、コロナ時代の移住先ランキングの後悔しないコロナ移住先ランキングで北海道・東北地区で1位に選ばれた。来年は市制施行50周年にちなんだイベントをどのように考えているのか。

政策企画課長 イベント企画はこれからの作業となり、記念式典はじめ、市民の皆さまや市に関わりある方など多くの方にご参加いただける事業や企画を検討していきたいと考えています。

問 岩沼市は、市民会館をはじめとする恵まれた公共施設、交通の利便性にも優れており、芸術やスポーツ愛好者が多数訪れての大きな演奏会や競技会や大会が開催されてきたが、現在コロナ禍で中止や見合わせとなっている。来年の開催が実現時には、主催以外のいろいろな団体の開催事業にも50周年というタイトルにちなんで扱い、何らかの支援を考えてはどうか。

市長 私も50周年という大きな節目でいろいろ検討しています。来年は、3月で復興10年、オリンピックもあり、イベント誘致も含めての動きもつかめない中ですが、節目にふさわしいものを新年度予算に反映させたいと思っています。

岩沼マスター制度創設を

問 自分たちが暮らす街に誇りとより深い愛情を持てるような取組として、ご当地検定、(仮称)岩沼マスターを創設してはどうか。幅広い年代の多くの市民の皆さんに参加していただき、市民一人ひとりが市民大使として岩沼の魅力を確認しながら発信する、そんな心づもりを持ちながら暮らせる岩沼を目指して行つてはどうか。

市長 将来の岩沼をしっかりと担っていただけの人材を育成しようという素晴らしい提案だと思えます。マスター制度ができるのであれば、人材育成をまず掲げていきたいと思えます。

◎その他の一般質問
・ コロナ禍における避難所運営と情報伝達